

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 分子機械が繋ぐ生物と機械の融合システム
2. 研究代表者： 庄司 観（長岡技術科学大学 技学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、生体材料をボトムアップ的に構築した分子機械を、生物と機械を繋ぐインターフェイスとして応用することで、生物と機械が綿密に融合したバイオハイブリッドシステムの創成を目指している。フェーズ1では、生物・機械融合システムの実現に向けて、高度で挑戦的な研究開発に取り組んでいる。一部遅れは認められるものの、配列したリボソーム型分子機械による発電や細胞との情報通信技術については着実に成果をあげていることは評価できる。フェーズ2では、1細胞・1分子レベルで制御することが可能なバイオアクチュエータの創発に向けた挑戦的な計画を掲げており、今後の発展を期待する。

以上